

鳴海宿

なるみしゆく
(豊明)



天下布武への野望がよみがえる歴史舞台。

永禄3年(1560)、今こそ天下に号令すべき時であると、二万五千の大軍を率いて上洛を開始した大大名今川義元。これを迎え討つは、兵力わずか三千の織田信長、「うつけ」と呼ばれた地方の小大名であった。

やがて冷静沈着に策を練った信長は、「人間五十年、下天のうちをくらぶれば、夢幻の如くなり」と謡い舞い収めると、天下布武の野望を胸に出陣。天も味方したか、折からの豪雨に休息をとっていた義元の本陣めがけて奇襲をかけ、戦国史上最大といわれる逆転劇をあざやかに繰り広げた。

名鉄名古屋本線沿線には桶狭間の戦いの地と伝えられる「桶狭間古戦場伝説地」、合戦の死者を葬ったとされる「戦人塚」、両岸に塚が現存している「阿野一里塚」などの国指定史跡を中心に、義元の本陣跡の石碑がある「高徳院」などが歴史の面影を残しています。

名所・旧跡 みどころガイド

桶狭間古戦場伝説地



「桶狭間の戦い」の合戦の地と伝えられる場所を整備した国指定史跡。今川軍の武将たちの墓や碑などが残されており、戦国の乱世を偲びながら歴史ロマンに浸ることができます。

豊明市栄町南館11 中京競馬場前駅より徒歩3分

高徳院



元は高野山にあった本尊をこの地に移し本堂を建立して安置。境内には今川義元本陣跡の石碑が立つ。

豊明市栄町南館3-2 中京競馬場前駅より徒歩3分

戦人塚



小高い丘にあり、桶狭間の戦いの両軍の戦死者2,500余人を埋葬して供養した塚。

豊明市前後町 仙人塚1737 前後駅より徒歩10分

沓掛城址公園



桶狭間の戦い前夜、今川義元が軍議を行ったとされる城址。現在は公園として整備され、空堀や井戸などが往時を偲ばせる。

豊明市沓掛町東本郷 前後駅より徒歩45分

曹源寺



知多四国巡りの一一番札所として信仰を集めている寺院。今川義元公をはじめ武将の靈碑を祀っている。

豊明市栄町内山45 前後駅より徒歩15分

阿野一里塚



日本橋より86番目の一里塚で東海道の両岸に現存。昭和11年に国指定史跡となる。

豊明市阿野町 池下114、長根4 前後駅より徒歩15分



花のスペシャリストが贈る
愛知豊明花き地方卸売市場見学

11/23(祝・月)
9:00～11:00

大変希少な江戸菊「東海道五十三次」と品評会に入賞した鉢物が、同時に見学できます。心が洗われますよ。

集合 愛知豊明花き地方卸売市場(豊明市阿野町三木本121)

参加費 500円

定員 30名／最少催行人数5名

受付 愛知豊明花き流通協同組合
0562-96-1199(担当:篠田&太田)
平日8:30～17:00



※イラストマップであり、実際の距離と異なります。※写真はすべてイメージです。

鳴海宿(豊明)に関するお問合せは 豊明市産業振興課 ☎0562-92-8312 平日9:00～17:00

詳しくは13ページへ